



水稲営農だより



令和6年第5号[6月5日発行]
JAつがる弘前
東地区営農係

1. 生育状況

田植えは早いところで5月11日から始まり、5月25日が最盛期となりました。

育苗期間中の気温が高かったことから徒長気味となっております。

気象庁発表の一ヶ月予報では、気温と日照量はほぼ平年並、降水量は平年並か多くなる見込みとなっております。

分けつ促進、早期茎数確保のために、昼間止水・夜間かんがい、漏水防止等の水温を上げる対策をするなどこまめな水管理を行いましょ。

調査地点 (品種)			移植時苗調査		
			草丈 (cm)	葉齢 (葉)	第一鞘高長 (cm)
まっしぐら	本年	小栗山	14.0	2.8	4.0
		碓ヶ関	18.5	3.1	4.2
	平年	JA	16.5	3.3	3.5
はれわたり	本年	松木平	16.4	3.1	4.7
		森山	17.3	3.3	3.6
	平年	JA	15.5	3.0	3.6
青天の霹靂	本年	松木平	17.6	3.3	4.1
		森山	16.6	3.6	4.1
	平年	JA	16.6	3.2	3.4

2. 水管理

暖かい日(平均気温20℃以上)…2~3cm程度の浅水管理で、水温と地温の上昇を図り生育を促し茎数の確保に努めましょ。

寒い日(平均気温20℃以下)…5~6cm程度の深水管理で、保温に努め養分の消耗を抑えましょ。

3. 病害虫防除

イネドロオウムシ・イネミズゾウムシの発生が多く見られ、気になる場合はなげこみトレボン(稲5葉期以降10a当たり4~6個)を散布してください。



捕植用苗を放置したままにするといもち病の発生源となりますので、捕植が終わったら直ちに処分ましょ。

斑点米カメムシ類の生息地となる畦畔のイネ科雑草は、開花・結実する前に刈り取りましょ。

4. 除草剤

中期除草剤	薬剤名	使用時期(田植え後14日後~)	使用量(10a)	散布方法
	セカンドショットSジャンボMX	田植え後14日~ノビエ3.5葉期まで	500g	湛水散布 (小包装のまま投げ入れる)
	レプラス1キロ粒剤	田植え後14日~ノビエ4葉期まで	1kg	湛水散布
	ツイゲキ豆つぶ250	田植え後14日~ノビエ4葉期まで	250g	湛水散布

後期除草剤	雑草散布	薬剤名	使用時期	使用量(10a)	散布方法
	ノビエ	ドメMF1kg粒剤	田植え後15日~ノビエ5葉期まで	1kg	湛水散布
		ドメMF乳剤	田植え後15日~ノビエ7葉期まで	200ml(500倍)	落水又はごく浅く湛水して散布
	広葉	バサグラン粒剤	田植え後15日~55日まで	3~4kg	落水散布
		バサグラン液剤	田植え後15日~55日まで	500ml(200倍)	
ノビエ+広葉	ドメバスMF液剤	田植え後15日~ノビエ6葉期まで	1000ml(100倍)	落水又はごく浅く湛水して散布	

※液剤使用の際は、雑草の先端から根本までまんべんなく散布してください。

青天の霹靂で使用できる中後期除草剤は、下記の2剤のみ使用できます。

- ・バサグラン(粒)またはバサグラン(液)のいずれか1剤
- ・トドメ1kg粒剤・トドメ乳剤・トドメバスMF液剤のいずれか1剤

